

## 第5回宍粟市都市計画マスタープラン検討委員会の主な意見と対応方針

	①	②	③	④	⑤	⑥
項目	都市の現状と都市づくりの課題について	都市の将来像	2分野別方針	(5) 歴史的文化的資源の方針	(6) 市街地・集落及び住環境の方針	(7) 防災及び減災の方針
主な意見	<p>・ P4 ページに宍粟市の現状ということで状況が説明されている。そのあと P20 ページでその個別分野ごとに、現状という言葉が、2 段階に分けて使われており、どこを見たら現状なのかわかりづらい。</p>	<p>・ P29 の都市づくりの基本目標のなかに、項目を追加するなどして、人口が減少に転じていることや、コンパクトで機能的で充実した社会にすることで、歩いて生活できる社会の実現という、都市の方向性を打ち出してほしい。新しい社会を構想しているということをも明記してほしい。</p>	<p>・ 都市機能を充実させます、公共交通の利便性を図ります、良好な住環境を整備しますなどは、平成 10 年都市計画マスタープランに同じような文言があっても違和感のない言葉である。具体的にどう取り組むのか、明確さに欠ける。</p>	<p>・ 前回の資料では、ここに観光駐車場、観光情報発信拠点施設、休憩施設などの整備によりという表現であったが、それが観光駐車場のみになっている。例えば、宍粟市の玄関口として観光関連施設の整備充実を図るとか、具体的に書かなくても前向きな内容を書いていただくことを希望する。</p>	<p>・ 従来、都市計画区域に住んでおられる方と第 1 のダムから移住された方がコミュニティを図っていくことは、都市計画の中で非常に重要な要素だと考える。これを地域総合戦略など、ほかの計画で示すから都市計画マスタープランには示さないということが理解できない。重要な方針なので入れたほうがいい。</p>	<p>・ 避難所の整備や、災害の予防以外に、減災の観点から町をどう創っていくのかがあっていうことが読み取れない。このプランの中では日常の安全安心と非常時の安全安心が混在していると見受けられる。そのため、それらを明確に、ある程度具体的な方向性を持って、盛り込むことが出来たら良いと思う。</p>
対応方針	<p>ご指摘どおり修正する。 P4 ページ「第 1 章都市の概況……」「1 宍粟市の概況」とする。</p>	<p>P29「2 都市の将来像」に「(2) 都市づくりの基本的な考え方」の項目を作成し、今後の都市づくりの基本的な考え方の方向転換を図るという内容で追加する。</p>	<p>P37 から P55 に示す 9 つの方針において、「取り組みます」、「図ります」などの表現に対し、具体性を表現するために、各方針の最後に「〇〇方針にかかる主な事業」として現在実施している事業名を追加する。</p>	<p>担当部局に観光駐車場の構造を確認したところ、現在の内容までしか記載できない状況である。(現時点で都市マスの記載変更はなし)</p>	<p>本計画の中においては、将来の都市の構想の中で基盤的、施設的なところを示して方向性を出していくことが大事である。上位計画である総合計画、地域創生総合戦略の定住促進の重点項目の中で戦略事項として既に挙がっているため、掲載を見送らせていただく。(現時点で都市マスの記載変更はなし)</p>	<p>P59 取組テーマ別構想で「安全・安心のまちづくり」の項目を作成し、交通安全などの日常の安全安心と水害などの非常時の安全安心の内容を追加する。</p>

第5回宍粟市都市計画マスタープラン検討委員会の主な意見と対応方針

	⑦	⑧				
項目	子育て環境について	少子化対策、情報発信の整備				
主な意見	<p>・少子化対策を考えた時に子どもを育てやすい環境は必要である。保育サービスは増えているが、宍粟での子育てがよりよくなるような具体的な内容があればと感じる。また、生まれた子たちが豊かな自然を当たり前の生活環境だと思わずに、地域の方々が環境を守っていることを発信できるような内容もあればとも考える。</p>	<p>・人口減少傾向の中、世帯数が増加している傾向があるが、空き家利活用の拡充を図ること少子化対策につながるか。また、子育て世帯に向けた情報発信環境整備を検討してはどうか。</p>				
対応方針	<p>環境整備については、第3章都市づくりの方針の公園緑地、自然環境の方針で示している。少子化対策として、第4章取組テーマ別構想で3つの重点テーマの中の生活利便性を高め、都市の活力を創出する拠点機能の強化に位置付け、その中で(2)子育て環境の充実として追加する。</p>	<p>空き家においては、有効活用できるものは空き家バンク制度等において定住促進につながるよう取り組んでおり、空き家の利活用についてP49の⑥空き家・空き地対策で示している。また、情報発信環境の整備については、本計画において記載しないが、市のホームページからの情報発信を強化するとともに、住まいや子育てのほか、移住者の経験談など移住希望者にとって必要な情報をわかりやすく市内外に発信し、新たな移住者の増加につなげます。</p>				